令和６年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人雲南広域福祉会

目　　次

Ⅰ．総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１

Ⅱ．法人運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３
１．理事会、評議員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３
２．監査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４
３．評議員選任・解任委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４
４．政策運営会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４
５．所長会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４
６．第４次中期計画策定委員会・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５

Ⅲ．事業活動の運営に当たって・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
１．利用者の人権尊重、苦情解決・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
２．職員の研修、教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ６
３．防災対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
４．関係機関との連携、運営の公開・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
５．地域の人材育成や地域啓発・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ８
６．福祉団体への支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ８

Ⅳ．各事業所の事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ10
１．就労支援事業所しゃぼん玉工房・・・・・・・・・・・・・・Ｐ10
① 就労移行支援事業
② 就労継続支援Ｂ型事業
③ 就労定着支援事業
２．生活介護事業所にじいろ・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ13
３．共同生活援助事業所レインボーハイツ・・・・・・・・・・・Ｐ15
４．相談支援事業所そよかぜ館・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ18
５．雲南障がい者就業・生活支援センターアーチ・・・・・・・・Ｐ21
６．地域活動支援センターパレット・・・・・・・・・・・・・・Ｐ25
７．児童発達支援事業所さくら教室・・・・・・・・・・・・・・Ｐ29

令和６年度雲南広域福祉会事業報告書

Ⅰ．総括

近年、少子高齢化が一層進行する中で、障がいのある方の増加、特に重度障がいの方が増える傾向にある。そうした中で「すべての人々がその人らしい生活ができるよう支援する」社会福祉法人の役割も重要になっている。

また、障害者総合支援法の一部改正法（平成２８年５月成立）が、平成３０年４月から完全施行され、就労定着支援事業や自立生活援助事業が新設されると同時に高齢化・重度化に重きを置いたサービス展開と多様なニーズに対するより柔軟で適切な対応が求められるようになった。

そういった中で、令和６年度決算においては、収入では、給付費は就労支援事業所「しゃぼん玉工房」、共同生活援助事業所「レインボーハイツ」、相談支援事業「そよかぜ館」、生活介護事業所「にじいろ」は増加し、児童発達支援事業所「さくら教室」のみ減額となったが、全体の給費額は、増額となった。また、各種受託事業についても微増となった。一方、支出面も前年に比べて人件費は、新規職員を採用したことや給付費の加算に伴う処遇改善等により増加したが、結果として法人全体の収支額は前年度に引き続き、単年度収支で黒字となった。しかしながら、令和７年度は職員の定期昇給や、給付費の加算に伴う処遇改善を行うために、一定の人件費が必要となる。

一方、令和６年度には、障がい者（児）支援第４次中期事業計画（令和７年度から１１年度）を策定し、ビジョンを＜「私」が大切にされ、「私たち」が力を合わせていける場をつくろう＞とし、当事者一人ひとりの想いに寄り添うことを改めて考え、併せて、職員一人ひとりも安心して働き続けられ、また、法人全体の経営基盤の強化に取り組むこととした。

以下各事業について報告する。

１．障がい福祉サービス事業所の就労支援事業所しゃぼん玉工房では、以下のとおり取り組んだ。

① 就労移行支援事業では、就労移行支援事業の利用がなかったため、就労アセスメントの依頼があった際に実施するに留まった。

② 就労定着支援事業では、就労移行支援事業等を利用し、一般就労後、６か月経過した障がい者の就労に伴う生活上の支援ニーズに対応できるよう、事業所や家族等との連絡調整等の支援を行なった。

③ 就労継続支援Ｂ型事業では、体力や職業能力に応じた作業に従事できるよう支援した。また作業の拡充と工賃向上を目指す中、クリーニング事業、製品加工事業は減少したが、野菜出荷事業、施設外受託事業、野菜加工事業は増加し、市内の給食センターにも安定して出荷することができ、全体では、事業収入が増加となった。

２．障がい福祉サービス事業所の生活介護事業所にじいろでは、生産活動と余暇活動、健康管理に関して支援を行った。生産活動では、利用者の高齢化や障がいの特性を考えた作業種での対応に努めた。また、外出活動については、利用者の孤立や生活が単調にならないよう行事等を行った。健康管理では、毎日、通所時に健康チェックを行い、健康状態の把握に努めた。

3．障がい福祉サービス事業所の共同生活援助事業所レインボーハイツでは、以下のとおり取り組んだ。

① 四ヵ所のユニット毎に各利用者一人一人の状況に応じて、安心して共同生活が継続できるよう支援した。

② 衣食住全般に渡る日常生活や金銭管理、健康管理や余暇支援、また就労している利用者の就労継続支援等に取り組んだ。

4．児童福祉サービス事業所の児童発達支援事業所さくら教室では、以下のとおり取り組んだ。

① 就学前の児童に対して児童発達支援事業、学齢期の児童・生徒に対して放課後等デイサービス事業を開設曜日の効率化を図りながら、集団療育、個別療育に取り組んだ。また、保育所等訪問支援事業を行った。

② 雲南市、奥出雲町、飯南町から受託して実施した障がい児通園事業では、通常事業に加えて飯南町、奥出雲町で定期的に療育支援を行った。島根県東部発達障害者支援センターの協力を得て、保護者が「子どもとの関わり方」を学習できるようペアレントトレーニングに取り組み家族支援を行った。また、相談機関につながる前の親子を対象に遊びの教室を開催し、親子の触れあい方を遊びを通じて伝えるよう支援した。

5．相談支援事業所そよかぜ館では、以下のとおり取り組んだ。

① 雲南市、奥出雲町、飯南町から市町村相談支援事業を受託して、障がいのある方や家族からの生活相談に応じた。

② 指定相談支援事業所としてサービス等利用計画を作成し、障がい福祉サービス事業者等との調整を行った。

③ 島根県高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点事業を受託し、高次脳機能障がい者の地域生活の相談に応じた。

④ 単身で生活する障がい者等が地域での生活を継続できるよう地域定着支援に取り組んだ。

6．雲南障がい者就業･生活支援センターアーチでは以下のとおり取り組んだ。

① 障がい者に対する就労支援や職場定着支援、事業主に対する障がい者雇用や雇用管理への助言、働く仲間のグループ育成や交流会の開催、関係機関との就労支援ネットワーク構築等に取り組んだ。

② 就職ガイダンス、ピアサポート活動、マナーアップ講座等、障がい者の就労意欲の向上、働く上で必要な知識やスキルを身につけるための研修会を開催した。

③ 「雲南地域はたらく応援プロジェクト」を、地域の障がい者就労支援関係機関が連携・協力し、就労系福祉サービス事業所利用者の就労支援に取り組んだ。

7．地域活動支援センターパレットでは、以下のとおり取り組んだ。

① 雲南市、奥出雲町、飯南町から地域活動支援センターⅠ型事業を受託して、日常的に創作活動や軽作業による生産活動、障がい当事者の自主的活動の支援や広域的な交流活動等を行った。

② 雲南市、奥出雲町、飯南町から地域生活支援事業や社会参加促進事業等を受託して、手話通訳者の設置、芸術・文化教室の開催や視覚障がい者の社会研修等に取り組んだ。

Ⅱ．法人運営

１．理事会、評議員会

雲南広域福祉会の現在の理事・評議員数は以下のとおりである。

１） 理事数　　７名

２） 評議員数　９名

３） 監事数　　３名

（１） 理事会の開催状況

回	会　議　名 開催年月日	出席者数	主な議案
1	第９９回理事会 ６月７日(金)	理事：７名 監事：２名	・理事長の職務執行状況報告について ・就労支援事業所しゃぼん玉工房、共同生活援助事業所グループホームレインボーハイツ運営規程の一部改正の専決処分について ・令和５年度事業報告について ・令和５年度決算について ・令和６年度補正予算（第１次）について ・給与規程の一部改正について ・第７７回評議員会の招集の決定について ・評議員選任・解任委員会外部委員の選任について
2	第１００回理事会 １１月２２日(金)	理事：６名 監事：２名	・理事長の職務執行状況報告及び上半期事業報告について ・苦情解決第三者委員会及び身体拘束・虐待防止委員会の開催結果について ・法令遵守規程の制定の専決処分について ・育児・介護休業等に関する規則の一部改正について ・就業規則の一部改正について ・令和６年度補正予算（第２次）について ・第７８回評議員会の招集の決定について
3	第１０１回理事会 ３月１９日(水)	理事：５名 監事：３名	・令和６年度運営指導の実施結果について ・令和６年度補正予算（第３次）について ・令和７年度事業計画について ・令和７年度当初予算について ・準職員就業規則の一部改正について ・障がい者（児）支援第４次中期事業計画について ・第７９回評議員会の招集の決定について

（２）評議員会の開催状況

回	会　議　名 開催年月日	出席者数	主な議案
1	第７７回評議員会 ６月２５日(火)	評議員：８名 監事：３名	・令和５年度事業報告について ・令和５年度決算について ・令和６年度補正予算（第１次）について
2	第７８回評議員会 １２月２３日(月)	評議員：９名 監事：３名	・上半期事業報告について ・苦情解決第三者委員会及び身体拘束・虐待防止委員会の開催結果について ・令和６年度補正予算（第２次）について

3	第７９回評議員会 ３月２８日(金)	評議員：８名 監事：２名	・障がい者（児）支援第４次中期事業計画について ・令和６年度運営指導の実施結果について ・令和６年度補正予算（第３次）について ・令和７年度事業計画について ・令和７年度当初予算について

２．監査

（１）監査の状況

回	実施年月日	実施者	内　　容
1	５月２８日(火)	監事：３名	令和５年度　事業報告 令和５年度　資金収支計算書 令和５年度　事業活動計算書 令和５年度　貸借対照表 令和５年度　財産目録

（２）内部経理監査の状況

回	実施年月日	実施者	点　検　項　目
1	１２月２０日(金)	統括所長	上半期分 ①経理規程の整備状況 ②会計組織の整備状況 ③通帳・印鑑の管理状況 ④支出事務の状況 ⑤収入事務の状況 ⑥寄附金の取扱状況 ⑦固定資産の管理状況 ⑧予算の管理状況 ⑨契約の取扱状況 ⑩財務諸表の開示 ⑪諸帳簿等の作成状況 計算書類、会計帳簿（主要簿、補助簿）、証憑書類関係（見積書、請求書、振込書、領収書、決議書等）

３．評議員選任・解任委員会

実施なし

４．政策運営会議

事業規模が拡大・多様化してきている当法人の業務の中で、重要な事項の執行等事業運営の円滑化を図るため、理事長と理事長の指名する理事による政策運営会議を開催した。

開催日　３月７日（金）

５．所長会議

月１回の定例開催により各事業所の成果や課題を共有しあい、法人全体で事業間の連携を取りながら各事業の特性を活かして業務に当たった。又、個別に事業所の経営状況について、議論を行い、経営改善への努力を行った。

６．第４次中期計画策定委員会

月１回の所長会に併せて、令和６年５月から令和７年２月まで第４次中期計画策定委員会を１０回開催し、第４次中期事業計画（令和７年度～１１年度）を策定した。

〇ビジョン：＜「私」が大切にされ、「私たち」が力を合わせていける場をつくろう＞

〇事業ごとの目標

◦就労継続支援Ｂ型、生活介護、地域活動支援センター

目標：一人ひとりに沿った支援を行い、魅力ある活動の場をめざします。

◦相談支援

目標：安心して地域生活が続けられるよう、１人ひとりのニーズやライフステージ応じた支援に取り組みます。

◦就労移行、就労定着支援

目標：一人ひとりの働き方が選択できる地域づくりを連携して構築します

◦児童発達支援、放課後等デイサービス

目標：お子さんたちが自分らしさを活かしながら成長できる支援、環境づくりを家庭、地域と力を合わせてしていきます。

◦共同生活援助

目標：一人ひとりの思いに寄り添いながら、安心して暮らすことができるよう、幅広いニーズに対応します。

◦法人本部

目標：職員一人ひとりが成長して行ける仕組みづくりと、安心して働き続けられる環境整備を進めるとともに、経営基盤の強化に取り組みます。

Ⅲ．事業活動の運営に当たって

１．利用者の人権尊重、苦情解決

いかなる時も利用者の人権を尊重して業務に従事し、虐待防止に取り組んだ。

苦情解決担当者会議の開催、第三者委員を交えた委員会の開催、第三者委員による児童発達支援事業所さくら教室の巡視及び利用者の保護者と第三者委員との懇談会等を開催して、利用者の権利擁護に努めた。また、法人内において人権、権利擁護に関する所内職員研修会を開催するとともに、所外において開催される人権研修会に参加した。

苦情解決担当者会議	９月２５日(水)
第三者委員を交えた委員会	１０月２日(水)
第三者委員による児童発達支援事業所さくら教室の巡視、 利用者の保護者と第三者委員との懇談会	１１月１１日(月)

寄せられた苦情・意見に対しては、誠意を持って話を聴き、改善に取り組んだり、或いは理解をいただくこととしている。

寄せられた苦情・意見　　０件

２．職員の研修、教育

１．施設外専門研修を積極的に受講させ、障がい者支援の力量形成に取り組んだ。

２．法人内に研修委員会を設置し、施設内研修を計画的に実施し、職員の資質向上に取り組んだ。

３．ＯＪＴの推進、自己啓発や資格取得に向けた自己学習の支援等を行った。

４．新規採用職員に対して、エルダー制度を設けた。また、採用事業所以外の事業所での実習を行った。

研修実績表

月	・全職員対象（所内） ・テーマ，業務調整により全職員対象(所外) 施設内(外)研修	・職務経験・職種等による対象（施設外研修） 職種・事業担当等による	職務経験・職位による
4	新規採用職員研修　〈所内〉 「法人理念、各種計画等」(2名)4/3		
5	新規採用職員他事業所実地研修(2名) 5/24～7/19	雲南圏域障がい者総合支援協議会総会研修会 (5名)5/21	
6		障がい者差別解消法に係る事業者向け説明会 (4名)6/5	
		東部圏域ブロック連絡会研修会（1名）6/19	
7		法人指導監査研修(3名)7/3	キャリアパス対応生涯研修（中堅職員コース） (2名)7/3、4
		発達障がい児・者支援者研修(1名)7/17	
		職業準備支援 WEB 講座(2名)7/17、30	サービス管理責任者基礎研修(1名)7/22～8/12、 8/21～22
		設置通訳者・手話通訳等派遣コーディネーター研修会(1名)7/18	
		就労支援講習会(2名)7/22、10/15	
		県精神障がい者支援事業所連絡協議会事業所管理者研修(1名)7/27	
8		雲南市相談支援連絡会研修会（障がいのある方の権利擁護）(10名)8/20	
		日本職業リハビリテーション学会研修 (4名)8/23、24	
9	職員研修　〈所内〉 「法人の理念と基本方針」 (35名)9/16、9/26（研修委員会主催）	障がい者雇用促進フォーラム(1名)9/2	
		島根県相談支援従事者専門コース別研修 グループスーパービジョン研修 (1名)9/3、4	
		就労支援基礎研修(1名)9/4～6	
		労務研修会(1名)9/12	
		高年齢者・障がい者雇用説明会(1名)9/18	
10		身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業研修会(2名)10/9	サービス管理責任者実践研修(1名)10/9～16、 10/23～24
		全国就業支援ネットワーク　第 25 定例研究・研修会(1名)10/28、29	
		就労支援講習会(2名)10/29	
		福祉サービス苦情解決研修会(4名)10/7	
11	職員研修　〈所内〉 「障がいのある方の人権・権利擁護」 (30名)11/21　（研修委員会主催）	中国・四国地区ワーカー連絡会(4名)11/8	
		市地域部会（災害時対応ワーキング研修会） (2名)11/11	
	こころのフォーラム２０２４ 「本人の想いをかたちに」～穏やかに過ごせる日常に感謝～ (10名)　11/27 （パレット・そよかぜ館主催）	就業支援実践研修（発達障がいコース） (1名)11/26	
		雲南市成年後見制度研修(2名)11/22	
		県精神障がい支援事業所連絡協議会事業者スタッフ研修(1名)11/30	

12		雲南市成年後見制度研修会(2名)12/17 障害者雇用推進セミナー(4名)12/13 発達障がいと就労支援(4名)12月、1月 会計実務研修（中級コース）(1名) 会計実務研修（上級コース）(2名) 監事研修(1名)	リスクマネジメント研修（一般コース）(2名)12/10、11
1		発達障がい支援フォーラム2024(1名) 障がい者虐待防止・権利擁護研修(1名)1/30	
2	職員研修　〈所内〉 「WRAP(ラップ)研修」 (34名)　2/13　(研修委員会主催)	障がい者虐待防止・権利擁護研修(2名)2/4 障害者就労支援セミナー2024(4名)2/3 障がい者虐待防止・権利擁護研修(1名)2/13 虐待防止・人権擁護研修(5名)2/18 県就業・生活支援センター研修会(4名)2/6 改正育児・介護休業法等説明会(1名)2/20 地域連携推進連絡会議(1名)2/25 就労選択支援研修会（6名)2/21	サービス管理責任者更新研修(1名)2/8
3		虐待防止・人権擁護研修（管理者研修）(2名)3/3 ロービジョン研修会(1名)3/23 雲南圏域高次脳障がい者ネットワーク会議研修(5名)3/5	

3．防災対策

消防計画に基づいて、日常点検を実施し火災予防に努めるとともに、非常時に冷静な行動をとることができるよう避難訓練や消火訓練を実施した。また、交通安全運動にも取り組んだ。

防災対策部会の開催	６月１８日(火)、
総合訓練の実施	三刀屋事業所：１０月３０日(水) 木次事業所：２月１７日(月) 加茂事業所：８月２日（金）
普通救命講習会の実施	ＡＥＤ等の普通救命講習会：１月３１日、２月２８日 （全職員対象）
部分訓練の実施（グループホーム火災発生時の避難確認）	火災： ﾚｲﾝﾎﾞｰﾊｲﾂ３月１９日(水)、いいしハイツ３月１７日(月)、 こじょうハイツ３月２日(日)、はるひハイツ３月１４日(金)
交通安全運動の実施	４/９(火)～４/１１(水)、９/２５(水)～９/２７(金) ※しゃぼん玉工房利用者、グループホーム利用者の自転車点検１回/月

4．関係機関との連携、運営の公開

障がい者総合支援協議会への参加や個別支援会議の開催、就業支援に関するネットワーク会議や高次脳機能障がい者支援に関するネットワークの取り組み等を通じて関係機関や他の障がい福祉サービス事業者等との連携を図った。

また、雲南市社会福祉法人連絡会として、「くらしの安心を支える　身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業」、「うんなん福祉・安全サポーター」による「ながら見守り活動」、「地域の防犯活

動」を展開した。

「そよかぜだより」「さくら通信」の発行、ホームページの活用によって情報の提供に努めた。

5．地域の人材育成や地域啓発

（1）雲南市、奥出雲町、飯南町から地域生活支援事業を受託し、今年度は、手話奉仕員養成講習会（入門課程）を受講者２０名で、２回実施し、今後２カ年をかけて手話奉仕員の養成講座を行うこととした。また、手話スキルアップ講座を１０回、登録手話奉仕員の研修会を４回、手話啓発活動として、手話体験教室を雲南市と奥出雲町で開催した。また、要約筆記体験会を３月に開催した。

（2）雲南市、奥出雲町、飯南町から地域生活支援事業を受託し、家族交流会と家族研修会を開催し、精神障がい者の保健福祉の向上と社会復帰の促進を行うとともに雲南地域の家族の交流を深めた。

（3）雲南地域のスポーツ交流会や、「飯石ふるさとまつり」「雲南市総合保健福祉大会」「雲南市歳末余芸大会」に出展（店）した。（みとやっこまつりは、急遽中止となった。）

（4）体験実習や研修の受け入れ、視察や見学の受け入れを行い、理解を深め合うことができた。

就労支援事業所しゃぼん玉工房、生活介護事業所にじいろ、地域活動支援センターパレット、相談支援事業所そよかぜ館、雲南障がい者就業・生活支援センターアーチでの受け入れ

・実習・研修者：松江緑が丘養護学校、出雲養護学校雲南分教室、島根大学医学部看護学科、県立島根大学看護栄養学部、吉田中学校、三刀屋中学校　６団体　１８名

・視察・見学者：西日本農業研究センター、神戸学院大学、障がい者就労事業振興センター韓国慶尚北道　財団　職員、さくらんぼ、人権センター　６団体　２０名

児童発達支援事業所さくら教室での受け入れ

・視察・実習：雲南市みなみかも保育園、木次こども園、三刀屋保育所、みかたっこ、みらい雲南、雲南市議会議員

６団体　　９名

6．福祉団体への支援

福祉団体の自主性を尊重し、効率的な運営ができるよう事務局を担当し、支援した。

（1）雲南障がい者スポーツ協会

目的：障がい者がスポーツ競技への参加を通して体力の増進を図り、障がい者相互の親睦の輪を広げ、社会参加の意識を高めるとともに、地域の障がい者スポーツへの理解を深め、障がい者福祉の増進に寄与することを目的とする。

・雲南障がい者スポーツ協会関係事業　（参加者総数　２２５名）

６月にグラウンドゴルフ大会（参加者４４名）を、９月にスポーツ大会（参加者９１名）を、３月にニュースポーツ大会（参加者９０名）を開催した。

・島根県障がい者スポーツ協会関係事業（参加者：ボーリング５団体１４名、ボッチャ３団体１１名）

（2）精神当事者会サークル雲南（参加者総数　８２７人）

目的：雲南圏域に在住の精神障がい当事者の孤立を解消し、仲間の輪を広げ、活動を通じて様々な体験をし、社会参加の促進と充実を図ることを目的とする。

活動内容：①ミーティング、総会、交流活動、作業活動、学習活動、各種会議への参画、たよりの発行

②スポーツクラブ活動（ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ）、大会等への参加

③清掃美化等ボランティア活動

令和６年度　就労支援事業所しゃぼん玉工房事業報告

Ⅰ．事業別実施状況

１．就労移行支援事業

○令和６年度は、就労移行支援事業の利用がなかったため、就労アセスメントの依頼があった際に実施するに留まった。

○就労アセスメントの実施

特別支援学校の生徒２名、中学生１名、一般の方１名に対し実施した。

２．就労継続支援Ｂ型事業

一般就労をしていたが、年齢や体力等の理由で離職した方、一般就労を目指しているが必要な体力や職業能力の不足により就職に結びつかない方等に対し、個別支援計画に基づき、事業所内外において生産活動の機会を提供した。

（１）作業活動内容

・高工賃のクリーニング及び施設外受託作業を安定して利用者へ提供できるよう、昨年度以上に作業量確保に努めた。その他の作業については、全体の作業バランスを考慮し、優先順位を付けて作業量の調整をした。

・工賃以外の経費については、資材等の値上げの影響を受け、前年度比１０５％となったが、水道光熱費等、節約できる部分については経費削減に努めた。

・各作業の作業工程を細分化し、障がいの程度に関わらず、高工賃の作業に従事できるよう工夫をして、一人ひとりの工賃向上に努めた。

・就労支援事業収入が支出を上回ったため、令和６年度は精算工賃（個々の年度総支給工賃額の２５％相当額を売上余剰金より支給）を支給することができた。

（２）就労支援事業収入

１６，９３６，８５４　円（対前年度比　１０４％）

作業別収入（内訳）

作業	収入	前年度比
クリーニング	６，９６６，７３１円	９４％
野菜加工(ﾎｳﾚﾝ草､ｾﾛﾘ)	２，４４１，７２１円	１４２％
製品加工(ﾅｶﾊﾞﾔｼ等)	１，００１，３１５円	９１％
施設外(ﾄｲﾚ清掃､除草等)	３，７１０，７７６円	１０２％
野菜出荷(農作業)	２，８１６，３１１円	１１４％

（３）利用者工賃

１）平均工賃月額　　４２，２８６円（前年度比　１１３％）※就労継続Ｂ型事業対象

２）工賃支払総額　１１，３６６，５０７円（前年度比　９８％）

３．就労定着支援事業

就労継続支援Ｂ型事業、就労移行支援事業を利用して就職し、就職後６か月経過した利用者に対し、面談や職場訪問、支援会議等を実施して就職後の定着支援を行った。

（１）利用状況

	契約数	定着数（年度末時点）	就職先の業務内容
就労定着支援	2	2	製造業　建設業 合計２社

（２）職場定着状況

年度	定着者数（年度末時点）	定着率(%)
令和５年度	2	１００
令和６年度	2	１００

Ⅱ．支援実施状況

（１）利用者の状況（事業別）

①　契約者数推移　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就労移行	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
継続Ｂ型	３２	３２	３１	３２	３２	３２	３２	３１	３１	３２	３３	３３
就労定着	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1
合　計	３５	３５	３４	３４	３４	３４	３４	３３	３３	３４	３６	３５

②　平均利用者数・利用率　※(　)カッコ内前年度比

	就労移行支援	就労継続支援Ｂ型
一日平均利用者	０人（－１．１人）	２３．４人（－１．５人）
年間利用率	０％（－１８％）	１０４％（０％）

③　障がい種別（年度末時点）

	精神	知的	発達	身体	合　計（人）
就労移行支援	0	0	0	0	0
就労継続Ｂ型	１３	１７	3	2	３５
就労定着支援	0	1	0	0	1
合　計	１３	１８	3	2	３６

④　サービス別・年代別（年度末時点）

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	平均　(歳)
就労移行支援	0	0	0	0	0	0	0	
就労継続Ｂ型	0	9	7	8	5	4	1	４２．２
就労定着支援	0	1	0	0	0	0	0	２５
合　計	0	１０	7	8	5	4	1	４１．７

⑤ 契約者の出身地域別状況（年度末時点）

	雲南市	奥出雲町	飯南町	その他	合　計（人）
就労移行支援	1	0	0	0	1
就労継続Ｂ型	３３	1	0	1	３５
就労定着支援	2	0	0	0	2
合　計	３６	1	0	1	３８

⑥ 新規契約者の利用経路

相談支援事業所	2
特別支援学校	0
その他の機関	1
合　計	3

⑦ 退所者

	就職	法人内サービス	法人外サービス	就労アセスメント	在宅	入院	その他	合　計
就労移行支援	0	0	0	4	0	0	0	4
就労継続Ｂ型	0	2	0		0	0	0	2
就労定着支援		1	0		0	0	0	1
合　計	0	3	0	4	0	0	0	7

令和６年度 生活介護事業所にじいろ 事業報告

１．事業実施状況

利用者の個別支援計画に基づき、創作活動や生産活動等の機会を提供し、身体機能や生活能力の維持・向上のために必要な支援を感染症予防に努めながら行った。

（１）利用者状況

６年度の延利用者数は3,038名(前年度比490名増)、一日平均12.5人（前年度比2.0人増）であった。利用者の体調不良、入院、休養、家庭事情での休みなどがあったが、契約者数と毎日通所の利用が増えたことにより、全体的に利用者が増加となった。

（２）活動内容

月~金曜日	午　前	生産活動
	午　後	個別活動・全体活動・外出活動

活動内容詳細は月予定表で周知

・生産活動…企業の部品組立て作業、しゃぼん玉工房の野菜出荷調整作業など
・個別活動…個人の趣味活動（創作活動、部品組立て作業、入浴など）
・全体活動…創作活動、体操、軽スポーツ、クイズ、喜劇鑑賞など
・外出活動…買物、コンサート参加、果物狩り、散歩、ドライブ、アート展見学など

（３）生産活動の実施状況

利用者の年齢や障がい特性を考えた作業種を受注し、作業環境を整え、利用者の意思と個人に合った作業種に取り組んでもらい、達成感や生きがいを感じてもらえるようにした。作業収入は、工賃として従事された利用者に分配した。６年度の作業収入は、483,834円(前年度より71,343円増)、平均工賃月額(１人あたり)は、2,445円(前年度より305円増)となった。作業受注量が増え、工賃支払い額が増額した。

（４）個別活動・全体活動の実施状況

個別活動は、趣味がある方の取り組み支援を行い、趣味がない方は、作業活動を提供し、余暇支援を行った。全体活動は、創作活動や所内レク活動などを中心に行い、仲間と楽しく活動する喜びを感じてもらうようにした。

（５）健康管理支援の実施状況

通所時に検温、血圧などの健康チェックを行い、健康状態を把握した。特変があったときは関係機関や医療機関と連携し、健康管理の支援をした。また、毎日、ストレッチ、体操や軽スポーツなどの活動を行い、健康の増進、体力維持の支援をした。

（６）行事・外出活動の実施状況

日中活動が単調にならないよう行事や外出活動を行った。楽しみながら体力保持や脳の活性化、コミュニケーションや交流の促進をはかり、生活に潤いや充実感が持てるようにした。買物外出は、店内で商品を選びながら歩き、地域生活を意識してもらいながら実施した。

4月	花見(木次・三刀屋)、買物外出	10月	ぶどう狩り、買物外出、コスモス鑑賞(飯南)
5月	出雲大社参拝、調理の日	11月	紅葉狩り、買物外出
6月	笹巻、買物外出、ポピー鑑賞(飯南)	12月	障がい者アート展、買物外出、忘年会、ｸﾘｽﾏｽ会、大掃除
7月	七夕の日、買物外出、ドライブ(海の日)	1月	新年の日、初詣、買物外出、高校生さんと交流活動
8月	当事者交流会、にじいろまつり、買物外出	2月	節分の日、買物外出
9月	障がい者ｽﾎﾟｰﾂ大会、買物外出、音楽療法、熱響 UNNAN コンサート参加	3月	ﾆｭｰｽﾎﾟｰﾂ大会、ひな祭り会、買物外出、梅見物、花見(大東・加茂)

（7）利用者家族との連携状況

在宅利用者家族と送迎時、ＧＨ利用者家族は支援会議を通じて連絡、相談を行った。

（8）関係機関との連携状況

相談支援機関、福祉サービス事業者、医療機関等と連携し、利用者のサービス利用や個別支援計画の作成等を支援した。また、見学、体験利用、新規相談での連携も図った。

（9）苦情解決の実施状況

日頃から苦情解決に向けた取り組みを所内で話合い、利用での困りごとや不満に思われることを迅速かつ円滑に解決できるようにした。また、苦情解決第三者委員会及び身体拘束･虐待防止委員会へ参加した。

(10) 非常災害対策・緊急時対応状況

総合避難訓練（１回）、事業所単独で地震訓練（１回）を行い、緊急時対応訓練や話合いを行った。また、日常点検を行い、火災予防、防犯に努めた。

(11) 体験利用、見学の受入れ

不安なく利用開始できるよう、事前の体験利用や見学希望者の対応をした。

２．利用実績（令和７年３月３１日時点）

（1）利用状況〔１日の利用定員：２０名〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
契約者数	18	19	20	21	23	23	24	24	23	22	22	22	22人
開所日数	21	21	20	22	21	20	22	20	20	19	18	20	20.3日
利用者数	208	248	238	241	263	251	283	252	272	253	245	284	253.2人
1日平均	9.9	11.8	11.9	11.0	12.5	12.6	12.9	12.6	13.6	13.3	13.6	14.2	12.5人

（2）支援区分別契約者数

区分2	区分3	区分4	区分5	計
5	10	6	1	22人

（3）障がい種別契約者数

身体	知的	精神	発達	高次脳	知的･精神	難病等	その他	計
3	3	11	0	2	3	0	0	22人

（4）年代別契約者数

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	平均年齢
0	1	1	1	4	6	9	0	62.6歳

（5）出身市町別契約者数

雲南市	奥出雲町	飯南町	その他	計
19	2	1	0	22人

（6）新規契約者数と退所者数

新規者数：７人（相談支援事業所、他福祉サービス事業所からの紹介）

退所者数：３人（入院継続、他サービスへの変更）

（7）体験利用者数と見学者数

体験者数：８人（新規利用前の体験など）　見学者数：９人（新規利用希望など）

３．まとめ

・利用契約に向けては、家族、関係機関と連携し、見学・体験利用を通して契約に結び付けてきた。また、利用者の状態、要望等を職員がチームとして把握し、利用者に合わせた魅力ある活動を実施することで利用日数の増加につながるよう努めた。

・今後、高齢施設へ移行する利用者も想定されるなかで、利用者確保が必要となる。

令和６年度 グループホームレインボーハイツ事業報告

１．ユニット別支援の特徴…利用者の状況に応じて住環境や援助の重点を考慮して運営した。

開始年度	ユニット名	定員	３月末 利用者数	ユニットの特徴
H14.４月	レインボーハイツ	１０名	１０名	精神症状の揺らぎの大きい利用者の相談に細やかに対応し、安心して暮らしていただいた。
H20.４月	いいしハイツ	５名	５名	男性で構成。共同生活のルールの中で話し合いながら楽しく暮らしていただいた。
H22.４月	こじょうハイツ	６名	５名	男性で構成。安定した日中活動の継続に向け、日常生活や就労面での援助をしながら、楽しく暮らしていただいた。
H24.４月	はるひハイツ	５名	４名	女性で構成。安定した日中活動の継続に向け、日常生活や就労面での援助をしながら、楽しく暮らしていただいた。
		２６名	２４名	※５年度終了時　２２名

２．利用者への一体的援助、個別的援助、介護の実施

休息の場を提供し、個別ニーズに応じた個別支援計画により、安心して、楽しく共同生活を送り、コロナ禍でも日中活動の場に継続して出かけられるよう支援や援助を行った。

(1)日常生活支援の実施

（衣、食、住環境、保清、身だしなみ、ホーム当番(炊飯、掃除等)活動が苦手な方への援助）

生活相談	延 523 件
生活支援	延 3,516 件

(2)健康管理の実施

基礎疾患等での定期通院の援助、受診同行、服薬支援、不調時の対応等、急性の傷病に対しての受診援助、新型コロナウィルス感染防止、インフルエンザ、食中毒等での予防等を行った。

健康管理、健康･医療相談	延 394 件
受診支援	実人数 19 名、延 377 件
服薬支援	延 7,796 件　（薬の預かり　6 名）

(3)金銭管理支援の実施

自己管理支援及び金銭等(必要者)の預かり、日常生活自立支援事業(社会福祉協議会)の利用支援を行った。

金銭管理支援	延 316 件（金銭等預かり 1 名)(日常生活自立支援事業利用援助 11 名)

(4) 関係機関等との連絡調整等の実施

日中活動に継続して出かけられるよう関係機関等と連絡調整を行い、生活支援、就労定着支援を行った。

関係機関との連絡調整	延 193 件

(5)利用者ミーティングの実施（利用者間の人間関係調整でのグループワーク）

	職員合同	利用者のみ
レインボーハイツ	６回	０回
いいしハイツ	６回	０回
こじょうハイツ	１２回	０回
はるひハイツ	１４回	０回

(6)買い物支援の実施

買い物デー	延 318 回（819 人）

(7)季節行事（文化、スポーツ活動）、社会参加・地域交流の実施

全ユニット合同交流会を２回実施した。忘年会は５年ぶりに実施し、利用者、職員と一緒に楽しい時間を過ごした。季節ごとに食事メニューを工夫した。

全ユニット合同交流会（軽スポーツ、忘年会）	２回
還暦祝い、古希祝い	０名

(8)近隣地域との交流、地域の理解

・10/20（日）みとやっこまつり　中止

(9)運営の公開と合意形成（施設見学の受入れ、たより広報、支援会議への参加等）

(10)苦情解決（苦情解決第三者委員会及び身体拘束･虐待防止委員会への参加）

(11)非常災害対策・緊急時対応（火災予防、避難訓練、夜間防災体制、緊急時連絡体制）

総合訓練	１回
部分訓練	各ユニット１回（火災訓練）

	Ｒ６年度	Ｒ５年度
夜間緊急対応	実人数１名、延１件	実人数１名、延１件

３．利用者家族への支援及び研修会の案内

(1)面談、電話連絡・相談、支援会議の実施

随時利用者家族と面談、電話連絡・相談、支援会議へ参加し、利用者及び家族支援を行った。

(2)家族向け交流会、研修会の参加案内

①家族研修会「こころのフォーラム 2024」への参加

②精神障がいのある方の家族交流会への参加

４．関係機関との連携

個別支援計画の作成や実施にあたっては、相談支援機関や他の福祉サービス事業者、医療機関等関係機関との連携を図った。

５．体験利用の受入れ

不安なくグループホーム利用が開始できるよう、事前の体験利用を受入れた。

	Ｒ６年度	Ｒ５年度
体験利用	実人数４名、計６回、計２２日間	実人数３名、計４回、計１６日間

６．まとめ、今後の課題

・新規に利用を希望される方が４名体験利用され、うち３名が利用につながった。体験利用にあたっては本人が生活していけそうか、周りの利用者への影響も考えながら受入れを検討している。今後も引き続き利用者の確保に向けて、関係機関と連携しながら対応していく。

・現在６５歳以上の利用者が全体の約４割を占めている。高齢者施設への入所申込をされている方もおられ、３月末に１名が養護老人ホームへ移行された。今後も当施設での支援の可否から、高齢者施設への移行などを考えるケースが増えてくると予想される。

・前年同様に利用者の健康管理を第一に、手洗い、消毒、換気、非密接等の対応を行いながら支援した。今後も感染防止に努めながら運営していく必要がある。

・共同生活では、各々の障がい特性や生活習慣等の違いから、共同生活のしにくさが出てくる。個別相談や利用者ミーティングで関係調整を図っているが、個人情報等もあり、対応に苦慮することがある。今後も職員でチームを組み、情報を共有しながら対応し、必要に応じて関係機関とも連携しながら対応していく必要がある。

令和６年度 グループホームレインボーハイツ利用者の状況（R7.３月末現在）

①利用者数

単位：名(%)

ユニット名	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
レインボーハイツ	9	9	9	9	10	9	9	9	10	10	10	10	113(94.2%)
いいしハイツ	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	54(90.0%)
こじょうハイツ	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60(83.3%)
はるひハイツ	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	4	4	42(70.0%)
計	22	22	22	22	22	21	22	22	23	23	24	24	269(86.2%)
特記：入院者	0	0	2	4	1	0	1	0	0	0	0	1	9(実6)
体験利用者			1	3	1			1					6(実5)

②障害支援区分

単位：名

非該当	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６
2	0	6	１３	2	1	0

③男女別・年代別

単位：名(%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
男	0	0	3	2	2	5	3	15(62.5%)
女	0	2	1	0	2	1	3	9(37.5%)
計	0(0%)	2(8%)	4(16%)	2(8%)	4(16%)	6(25%)	6(25%)	２４

④利用期間別

単位：名

１年未満	１年以上５年未満	５年以上１０年未満	１０年以上１５年	１５年以上
4	5	3	8	4

⑤日中の活動先

単位：名

一般企業	就労移行支援事業	就労継続支援Ｂ型事業	生活介護事業	その他
8	0	５（１名生活介護併用）	１２	0

⑥障がい種別

単位：名(%)

精神障がい１３（54%）	内　身体障がい重複（４）、知的障がい重複（１）、高次脳機能障がい重複（１）
知的障がい１０（42%）	内　精神障がい重複（２）
身体障がい１（4%）	内　高次脳機能障がい重複（１）

⑦出身市町別契約者数

雲南市	奥出雲町	飯南町	その他	計
１８	4	1	1	２４

⑧新規利用者数

新規利用者数
4

⑨退所者数と退所先

退所者数	退所先
3	入院：１ 高齢者施設：１ 自宅：１

令和６年度　指定相談支援事業所そよかぜ館　事業報告

１.委託相談支援事業

雲南市、奥出雲町、飯南町から市町村相談支援事業を受託し、障がいのある方や家族からの生活相談に応じた。

（１）市町村別利用者数（実数）

	雲南市	奥出雲町	飯南町	他市町	計
新規	12	2	1	0	15
継続	159	16	9	0	184
合計	171	18	10	0	199

（２）障がい種別相談利用者数　※重複障がいも含む　（　）内は新規相談者数

	身体	知的	精神	発達	高次脳	重症心身	その他	計
実	31(1)	54(1)	49(2)	38(9)	11(2)	0	35(0)	218(15)
率	14.2%	24.8%	22.5%	17.4%	5.0%	0.0%	16.1%	
延	609	1,452	1,631	393	417	0	800	5,302
率	11.5%	27.4%	30.8%	7.4%	7.9%	0.0%	15.0%	

（３）相談形態別相談件数

訪問	964	19.2%
来所相談	124	2.5%
同行	193	3.8%
電話相談	1,777	35.4%
電子メール	9	0.2%
個別支援会議	234	4.7%
関係機関	1,677	33.4%
その他	38	0.8%
合計	5,016	

（４）相談内容別件数

福祉サービスの利用	2,703	24.4%
障害や病状の理解	1,080	9.8%
健康・医療	2,115	19.1%
不安の解消・情緒安定	2,102	19.0%
保育・教育	272	2.5%
家族関係・人間関係	923	8.3%
家計・経済	548	5.0%
生活技術	316	2.9%
就労	237	2.1%
社会参加・余暇活動	164	1.5%
権利擁護	7	0.1%
住居	43	0.4%
地域生活移行支援	0	0.0%
その他	545	4.9%

（５）新規利用者の相談経路

県保健所	市町	医療機関	福祉サービス事業所	相談支援事業所	基幹相談支援センター	就業・生活支援センター	包括・ケアマネ	本人・家族	その他	合計
0	2	1	0	0	9	0	0	2	1	15

（６）相談支援のまとめ

・新規相談は、前年度同様、基幹相談支援センターからの依頼が最も多かった。新規相談の件数は例年並みで、状況を見ながら、できるだけ引き受けるよう努めた。

・相談内容の内訳もほぼ例年同様だったが、家計・経済に関する相談がやや増加した。金銭管理や金銭の援助を行ってきた家族の状況が変わったことにより、金銭管理に関する相談・支援を行う必要が生じたケースにいくつか対応した。

・家庭全体に支援が必要なケース、こだわりの強さ等から周囲に影響を及ぼす行動が起こりやすいケース等、高い援助技術や特別な配慮が必要になるケースが増えた。

２．計画相談支援・障害児相談支援事業

指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所として、障がいのある方が希望する暮らしの実現に向けてサービス等利用計画を作成し、障がい福祉サービス事業者等との調整を行った。

（１）契約者数の状況

①計画相談支援　　新規契約１５名、解約１１名（サービス利用終了、介護保険への移行等）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
契約者数	106	107	105	107	108	109	108	108	108	108	110	111
新規	1	2		2	3	2				1	2	2
解約	1	2		1	1	1			1		1	3

②障害児相談支援　　新規契約８名、解約９名（進級・施設入所等によりサービス利用終了、転居等）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
契約者数	33	33	33	35	35	35	36	33	34	34	34	35
新規		1	1	2			1		1	1		1
解約	1	1					3		1			3

（２）支援の状況

①計画相談支援　平均モニタリング数：５１．４件／月

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
サービス利用支援	2	2	1	4	3	1	2	5	2	2	3	2
継続サービス利用支援	52	43	58	42	50	62	53	48	50	47	52	60

②障害児相談支援　平均モニタリング数：１１．５件／月

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
サービス利用支援	4	1	1	3	0	0	0	1	0	1	0	1
継続サービス利用支援	8	15	14	9	10	13	12	12	13	10	11	11

３．地域相談支援事業

指定一般相談支援事業所として単身で生活する障がい者等に対して地域定着支援を行った。

地域移行支援	実人員　　０名	延　　０名
地域定着支援	実人員　　１名	延　　１２名
緊急時支援	緊急時支援Ⅰ（０件） ※緊急訪問等	緊急時支援Ⅱ（０件） ※深夜における電話対応

４．島根県高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点事業

島根県から高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点事業を受託し、利用者や家族への支援、関係機関との連携等に取り組んだ。

（１）相談支援

①新規相談者数

	実人員	（再掲）新規者の相談経路						
		医療機関	障害者支援事業者	介護保険事業者	保健所	市町村	その他	なし
人員	4	2	1	0	0	1	0	0

②相談延べ件数　（実人数：２０名）

	電話	来所 来院	訪問	メール 書簡	その他 （出張・同行等）	計
本人	188	1	43	0	8	240
家族	31	1	22	0	0	54
関係機関	131	1	3	0	1	136
計	350	3	68	0	9	430

（２）家族の集いの開催

・第１回：令和６年７月１２日（金）『小物作り』→参加者キャンセルのため中止

・第２回：令和６年１０月２５日（金）『地元の歴史を学ぶ、食事会』７名

・第３回：令和６年１２月２０日（金）『軽スポーツ、茶話会』６名

・第４回：令和７年３月１４日（金）『茶話会』７名

（３）関係機関との連携、ネットワークの構築

①ネットワーク会議の開催

・第１回：令和６年７月３１日（水）オンライン開催、２９名

・第２回：令和７年３月５日（水）オンライン開催、２３名

②東部地域支援拠点（松江青葉病院）との連絡会の開催

（４）研修会の開催

・令和７年３月５日（水）オンライン開催、３４名

講演「高次脳機能障がいについて コーディネーターの立場から
～介護保険認定調査員研修の内容より～」

講師：松江青葉病院　東部地域支援コーディネーター　仲西秀之氏

５．ピアサポーター活用事業

（１）ピアサポーター活用状況

・ピアサポーター登録者数：４名（男性２名、女性２名）

・活用延べ人数：①個別支援０回、②集団支援１５回５５人

（２）活動内容

・こなんホスピタル、こころの医療センターにピアサポーターと訪問し、ピアサポーターと入院患者との交流活動を支援した。

・ピアサポーター自身が活動内容を相談しながら取り組めるよう、側面的に支援した。

６．障害支援区分認定調査の受託実施

雲南市、奥出雲町、飯南町から委託を受け、障害支援区分認定調査を行った。

認定調査	３４件

（雲南市　３１件、奥出雲町　１件、飯南町　２件）

７．研修会や会議等への参加

（１）雲南圏域障がい者総合支援協議会への参画（雲南市地域部会、相談支援専門部会）

（２）他機関主催の会議等への出席（精神障がい者地域移行・地域定着支援会議、特別支援学校進路相談会　他）

（３）相談支援従事者等研修への参加（グループスーパービジョン研修　他）

８．広報・啓発活動他

・広報紙「そよかぜだより」発行、・ホームページによる情報提供

令和６年度　雲南障がい者就業・生活支援センターアーチ　事業報告

Ⅰ．事業実施状況

１．相談・支援

（１）障がい者や事業主からの個別相談

（２）職業準備訓練や職場実習の斡旋

（３）事業主に対する障がい者の就職後の雇用管理への助言、調整

（４）働く仲間のグループ育成と交流会の開催「ゆーとぴあ」

①雇用安定等事業在職者交流会

ⅰ　６月３０日（日）：勉強会「元気を作る食べ物の話」～おいしく食べて健康に～
在職者：　９名参加

ⅱ１２月２１日（土）：勉強会「歯の健康について学ぼう」
在職者：１０名参加

②島根県障がい者の仕事と生活の両立支援事業

ⅰ　５月１８日（土）：そば打ち体験　在職者：　９名参加

ⅱ　６月３０日（日）：軽スポーツ（モルック）　在職者：１２名参加

ⅲ　９月２９日（日）：広島宮島観光、もみじ饅頭体験　在職者：２０名参加

ⅳ１２月２１日（土）：カップケーキ作り　在職者：１０名参加

ⅴ　３月　１日（土）：ホームランドーム（松江市）　在職者：１７名参加

（５）求職者のためのピアサポート活動の実施

ⅰ１０月　２日（金）：「簸の上園」会社説明、障がい者雇用で働いている方の体験発表
障害者雇用について会社から説明、簸の上園見学、グループワーク
求職者８名、支援者２名参加

ⅱ　１月２１日（火）：職業興味検査について
※在職者との合同開催　求職者９名、支援者１名参加

２．関係機関との連携、ネットワークの構築

（１）連絡会議の開催：６月２８日（集合開催）

（２）就労支援専門部会の開催

①全体会（ネットワーク会議）

・開催日：５月２３日（集合開催）、９月２６日（集合開催）、２月２７日（集合開催）

・内容：各ワーキンググループの活動内容の共有、意見交換等

②一般就労ワーキンググループ

・開催日：５月２３日、６月２４日、７月３０日、９月２６日、１１月１日、１２月１８日、
２月２７日

・内容：企業アンケート結果の分析、結果より雲南圏域での企業への取り組みについて検討

（３）雲南地域はたらく応援プロジェクトの取り組み

①福祉サービス事業所とのケース検討会の実施：　全８事業所、対象者１９名

②福祉サービス事業所利用者の職場体験実習支援：　１５件

（４）研修会の開催

①マナーアップ講座：体験実習前に必要に応じて個別に対応。

②就職ガイダンス（１２月６日）

・内容：講演①「報告・連絡・相談をしやすくする声掛けを練習しよう！」
講師：島根障害者職業センター　開田　美穂　氏
講演②　「働くために、今からできること」
講師：ハローワーク雲南 山崎　綾　氏

・参加人数：２２名

③就労学習会（２月７日）

・会場：三刀屋農村環境改善メインセンター

・内容：①体験発表「２２年の軌跡～支援者と歩んだ就職までの８年間と会社の方に支えてもらった就職後１４年間の取り組み～
サンセイ株式会社　生産管理課　係長　渡部慎吾氏　板持勇二氏、
②健康講座「元気なおくちで元気にすごそう」
講師：雲南市役所　健康福祉部　健康推進課　歯科衛生士　安部美智野氏
・参加人数：　３７名

（５）ハローワーク雲南との情報交換会の開催：計１２回実施
（６）東部発達障害者支援センターウィッシュとの情報交換会の開催：計３回実施
（７）雲南圏域障がい者総合支援協議会への参画
（８）県内センター連絡会議、センター長会議の開催・出席
（９）他機関主催の会議等への出席（労働局主催会議、特別支援学校進路相談会他）

３．広報・啓発活動他
（１）企業への訪問、職場開拓
（２）障がい者雇用情報紙「レインボー」企画・取材
（３）広報紙、ホームページによる情報提供　他

Ⅱ．相談・支援実施件数

１．支援対象障がい者の状況（令和７年３月末時点）

（１）登録状況（人）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	（R５）
在職中	２２	８０	７３	１０	１８５	１７３
求職中	１０	２５	３５	４	７４	８１
その他	２	１５	１５	３	３５	２２
合計	３４	１２０	１２３	１７	２９４	２７６

（２）登録者の居住地（人）

雲南市	２１５
奥出雲町	４８
飯南町	２０
その他	１１
合計	２９４

（３）新規登録者の利用経路（人）

ハローワーク	2
地域障害者職業センター	1
特別支援学校	8
就労移行支援事業所	0
上記以外の福祉サービス事業所	4
市町村等行政機関	0
直接利用	1
その他（病院・保健所等）	3
合計	１９

＜登録者の状況＞
新規登録者は特別支援学校の卒業生が８名で新規登録者の４２％を占めた。新規で就労相談を受けるが、職業準備性が整っておらず、就労系の福祉サービスを利用になるケースも多く見られた。

２．障がい者に対する支援の実施状況

（１）支援対象障がい者に対する相談・支援件数（手段別）（件）

		（R５）
センターへの来所　（本人のほか、家族等も含む）	５２４	３９５
電話・Fax・e-mail　（本人、家族等からの電話のほか、センターからの電話も含む）	１，４９０	１，３３７
職場訪問　（定着支援のほか、職場実習支援を含む）	４１４	３７０
家庭・入所施設への訪問	９４	８２
その他　（ハローワーク等への同行、企業・施設見学同行、ケース会議への参加等）	３１６	１９９
	２，８３８	２，３８３

（２）支援対象障がい者に対する相談・支援件数（内容別）（件）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	（R５）
就職に向けた相談・支援	５７	３０７	５４２	６７	９７３	１，１８６
職場定着に向けた相談・支援	４５	５６０	６８０	７７	１，３６２	７８５
日常生活、社会生活に関する相談・支援	１２	１０５	９０	１９	２２６	１４３
就業と生活の両方にわたる相談・支援	２８	８０	１５６	１３	２７７	２６９
合計	１４２	１，０５２	１，４６８	１７６	２，８３８	２，３８３

＜相談・支援の状況＞
職場定着に向けた相談が前年度より倍増となった。職員体制が１名増になったことと、新規就職者の定着相談が増えたことが要因の一つと考えられる。

（３）職場実習等のあっせん件数（件）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	（R５）
職業準備支援	０	０	０	０	０	０
職場実習	０	１５	２５	１	４１	４４
合計	０	１５	２５	１	４１	４４

＜職場実習支援の状況＞
新型コロナ感染症以降、実習受け入れ企業数も以前の状況に戻りつつある。また就職を目指し複数回実習に取り組む方も多かった。

（４）就職状況

①就職件数（件）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	（R５）
一般（30 時間以上）	１	４	９		１４	１４
短時間①（20 時間以上 30 時間未満）	１	３	６		１０	４
短時間②（20 時間未満）	０	０	５		５	２
合計	２	７	２０		２９	２０

※その他、就労継続支援事業Ａ型への就職件数：１件（R5：０件）

②就職先業種別件数（件）

金属製品製造業	９
社会福祉施設	５
小売業	５
食料品製造業	３
情報処理サービス業	２
医療保健業	１
クリーニング業	１
畜産業	１
林業	１
旅館業	１
合計	２９

（５）職場定着支援の実施状況

①職場訪問による職場定着支援件数：１９２件（R5：144 件）

②令和５年度中に就職した者（雇用契約等により１年以内に離職することが明白な者を除く）の、就職後１年経過時点の職場定着率

A. 令和５年４月～令和６年３月までの就職件数（雇用契約等により１年以内に離職することが明白な者を除く）（件）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
一般　(30 時間以上)	0	6	6	0	１２
短時間①　(20 時間以上 30 時間未満)	1	2	1	0	4
短時間②　(20 時間未満)	0	1	1	0	2
合計	1	9	8	0	１８

B. Ａのうち就職後１年経過時点での在職者数（人）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
合計	1	9	7	0	１７

C. １年経過時点の定着率（B／A）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
合計	１００%	１００%	８７.５%	0%	９４.４%

（R５）
９１.７%

＜職場定着支援の状況＞
職員が１名増員となったことで、職場訪問による定着支援の件数が増え。よって、１年経過時の定着率が上がる一因となった。

３．事業主に対する相談・支援の実施状況

（１）相談・支援を行った事業所数：１０２事業所（R5：130 事業所）

（２）相談・支援件数（手段別）（件）

		（R５）
①センターへの来所	３３	6
②電話　(FAX、e-mail 等を含む)	６９４	５１１
③企業訪問　(職場開拓、職場定着支援、雇用啓発等を含む)	４２０	３９４
④その他　(ケース会議等を通じた支援)	3	2
合計	1,１５０	９１３

（３）相談・支援件数（内容別）（件）

		（R５）
①雇入れに関する相談・支援	３８４	４３６
②雇用する障がい者の職場適応・職場定着に関する相談・支援	６４７	３２１
③雇用する障がい者の生活面に関する相談・支援	１１	5
④障がい者の雇用支援制度に関する相談・支援	1	0
⑤その他（職場体験実習に関すること等）	１０７	１５１
合計	1,１５０	９１３

＜事業主に対する相談・支援の状況＞
新規就職者も増えたことから、会社からの職場定着に関する相談が倍増した。業務内容等、直接の仕事での対応の相談も多かったが、仕事に付随する生活面でのフォローの相談が多くあった。

４．関係機関との連携状況等

（１）他支援機関に対する相談・支援件数（就労支援に関する一般的な相談への対応や、他機関が主催するセンター登録外のケース会議への出席等）：６

（２）センター登録者への個別支援において、関係機関と連携を図った件数（ケース会議や打ち合わせ、他機関への支援依頼等）：１,５９２

＜関係機関との連携状況＞
生活支援機関、医療機関、教育機関等、様々な関係者と連携を図りながら支援にあたった。

令和６年度 地域活動支援センターパレット 事業報告

（地域活動支援センターⅠ型事業・機能強化事業、地域生活支援事業、手話通訳者設置事業）

１．総括

（１）地域活動支援センターⅠ型事業を実施した。主に精神、知的、発達、高次脳機能に障がいのある方や引きこもり等により、社会参加ができにくい方を対象に、憩いの場の提供、創作活動や生産活動等の機会の提供、自主活動支援(余暇活動)、地域交流活動の場を提供した。また、機能強化事業を受託し、専門職員を配置すると共に週末も開所し、平日は就労あるいは福祉サービス事業所等に通所している方の地域交流、活動の場を提供した。また、当事者団体の自主活動を支援した他、ボランティア育成に取り組んだ。

（２）地域生活支援事業を実施した。身体、知的、精神、発達、高次脳機能に障がいのある方やひきこりの方を対象に社会生活トレーニング、自主活動支援(余暇活動)、仲間づくりや地域住民への啓発活動、広域的な地域交流事業を実施した。また、聴覚に障がいのある方を対象に手話通訳者派遣、手話・要約筆記奉仕員派遣、手話奉仕員養成に取り組んだ。

（３）手話通訳者設置事業を実施した。聴覚障がいのある方を対象に手話通訳者派遣事業、手話・要約筆記奉仕員派遣事業、手話奉仕員養成事業を円滑に進めるとともに日常生活の便宜を図った。

２．開所日及び週末開所

年間を通して週末も開所し、平日は就労、福祉サービス事業所等に通所している方、医療機関に通院している方も当事者活動に参加できるようにした。サロンでのピア活動やテーマを設定した活動の機会を設け、当事者のエンパワメント、リカバリーを支援した。

開所日２８７日	開所率７８．６％

開所日：月曜日～金曜日　午前９時～午後５時　　日曜日　午前９時30分～午後４時
休所日：土曜日、第５日曜日、祝祭日、12月29日～1月３日

３．市町別利用者数

	雲南市	奥出雲町	飯南町	その他市町	計
実利用者数	106人	38人	13人	1人	158人
延利用者数	5,380人	1日当り利用者数		18.7人	

４．地域活動支援センターⅠ型事業・機能強化事業

（１）日常生活支援

一人で自由に過ごしたり、仲間同士で語り合ったりできる憩いの場(ピアサロン)を提供した。他者との関わり方や情動、ストレスへの対処、マナーやルール、金銭管理、食生活等で相談や援助が必要な方には職員が関わり、日常生活が安心して送れるよう支援した。また、病状や生活経験不足などで自宅での入浴や洗濯ができにくい方に浴室や洗濯機・乾燥機を提供した。

ピアサロン、ピアカウンセリング	3,370人
入浴サービス	0人
洗濯サービス	0人

（2）生産活動

「自分のペースでゆっくり働きたい」、「障害福祉サービス利用までの準備期間として作業を経験したい」などという方を対象に軽作業の場を提供し、社会参加の促進を支援した。個別の目的に沿った作業への取り組みや体調等に応じた作業ができるよう支援をした。

軽作業(毎週火・水・木曜日 10 時～12 時実施)	152 回	216 人

（3）自主活動支援

創作活動、パレットタイム、パレットシアター、カラオケの日など利用者の余暇活動、自主活動への意欲につながるよう利用者のニーズを考慮し、企画、実施した。また、体力、健康の増進、気分転換などを目的に軽スポーツ活動も実施した。その他、テレビ、パソコン、本、マンガなどを設置し、個人で過ごすことができるようにした。さらに利用者が多様な考え方を出し合い、分かち合うピア(仲間)サポートの場として利用者ミーティング(茶話会)を実施した。また、出張支援センターを奥出雲町（２回)、飯南町（１回）で実施した。

創作活動、パレットタイム	11 回	45 人
スポーツ活動（軽スポーツ、卓球、ボッチャ）	35 回	143 人
文化活動(カラオケ、シアター、社会研修)	27 回	82 人
利用者ミーティング(茶話会)	4 回	21 人
出張支援センター	3 回	78 人

（4）地域交流活動

地域の講師や地域のボランティアを招き、茶道、書道、絵手紙教室、食事会などを実施した。講師やボランティアから作法や調理の仕方等を教えてもらうことを通して楽しく会話をするなど交流することができた。

茶道教室、書道教室、絵手紙教室	12 回	54 人
食事会、カレーの日	24 回	153 人
雲南人権擁護委員との交流活動	2 回	9 人

（5）当事者団体への支援

当事者会サークル雲南、雲南障がい者スポーツ協会の事務局として、より充実した当事者活動になるよう支援を行った。サークル雲南では、雲南地域在住の当事者の様々な活動を通した社会参加と地域生活での充実を支援した。スポーツ協会では、グラウンドゴルフ大会、スポーツ大会、ニュースポーツ大会を感染防止対策を行いながら実施した。

団体名	内容	実施回数	参加者数
当事者会サークル雲南	ミーティング、例会等	28 回	272 人
	ボランティア活動	7 回	64 人
	スポーツ活動	27 回	244 人
	たよりの発行	12 回	240 人
	会議への出席	7 回	7 人
雲南障がい者スポーツ協会	雲南障がい者グラウンドゴルフ大会	1 回	44 人
	雲南障がい者スポーツ大会	1 回	91 人
	雲南障がい者ニュースポーツ大会	1 回	90 人

（6）地域交流、啓発活動

毎年、当事者、家族、ボランティア、地域住民、関係機関と協働し、障がいへの理解促進、啓発活動と活動を通した当事者のエンパワメントを図ることを目的に地域交流活動として、「雲南地域当事者交流会」を開催した。

内容	実施回数	参加者数
雲南地域当事者交流会	1回	37人

（7）ボランティア育成・連携（センター主催活動への参加・支援）

地域ボランティアと連携を図り、食事会などを通した当事者との交流の機会を設け、障がいに対する理解促進、啓発を行った。

内容	実施回数	参加者数
食事会、カレーの日、絵手紙教室	27回	55人
出張ピアサロン、視覚交流会	6回	14人
雲南人権擁護委員との交流活動	2回	4人
雲南地域当事者交流会（中学生）	1回	4人
視覚障がい者交流会	2回	6人

5．地域生活支援事業

（1）社会生活力トレーニング

主に精神障がいのある方を対象に、パソコンに触れ、慣れ親しむ体験の場を月1回提供した。また、重度身体障がいのため外出が困難な方を対象とした訪問パソコン教室を実施した。

パソコン体験教室	70時間	70人
訪問パソコン教室	64時間	64人

（2）手話通訳者派遣、手話・要約筆記奉仕員派遣、手話奉仕員養成講習会等

聴覚等に障がいがある方のためにコミュニケーションが円滑にできるよう、通訳者等のコーディネートを行った。さらに、手話奉仕員養成講習会（基礎講座）を開設や手話奉仕員、要約筆記奉仕員等のフォローアップ研修会、手話体験教室を行い、地域啓発と理解促進を行った。

手話通訳者派遣	75人
手話奉仕員派遣	7人
要約筆記奉仕員派遣	20人
盲ろう者通訳介助員派遣	38件

手話奉仕員養成講座（入門）	講座　2回（受講生 20人）	35人
手話奉仕員研修会	4回	36人
要約筆記体験会	1回	10人
手話体験教室（雲南市、奥出雲町）	2回	32人

（3）出張ピアサロン、視覚障がい者の外出支援

各地域に出向き、当事者の交流活動を開催し、余暇活動や仲間作り、情報交換の場を設けた。

内容	場所	内容	回数	参加者数
出張ピアサロン	雲南市	出前講座、ぶどう狩り、ボッチ	6回	84人

		ヤ、秋の食事会、正月飾りづくり教室、茶話会		
	奥出雲町	そば打ち体験	1回	20人
	飯南町	レクリエーション	1回	9人
視覚障がい者外出支援	雲南市・奥出雲町	交流会、遠足	2回	21人

（4）広域的な地域交流・研修事業や啓発活動の実施

毎年、広域的な地域交流活動を開催し、当事者、家族、ボランティア、地域住民、関係機関との協働や障がいへの理解促進・啓発活動と活動を通した当事者のエンパワメントの向上を図っている。

内容	実施回数	参加者数
精神障がいのある方の家族交流会	1回	12人
家族研修会（こころのフォーラム2024）	1回	26人
雲南地域スポーツ大会	1回	35人
そよかぜだより発行	2回	

6．手話通訳者設置事業

聴覚に障がいのある方の通訳、相談、コーディネートを行うとともに手話通訳者派遣事業、手話・要約筆記奉仕員派遣事業、手話奉仕員養成事業が円滑に進むよう日常生活の便宜を図った。

通訳	232件
相談	646件

外部からの手話指導依頼	依頼	13件
	当事者講師	13人
	通訳者	11人

7．まとめ・今後の課題

○他事業所に参加を呼びかけ実施していく「地域交流事業（活動、行事）」において、参加される事業所がなかなか増えていかない。

○パレットに来所される利用者について、新規の利用者の確保を行っていく必要がある。

○手話通訳のニーズ（必要性）が高くなってきたが、雲南圏域内の「手話通訳者」の人数が、増えていかない。今後、1市2町の考えを聞きながら、対応を考えていく必要がある。

令和６年度　児童発達支援事業所さくら教室 事業報告

１．実施した支援事業

（１）児童福祉法に基づき、障害児通所支援事業（児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援）を実施し、障害のある児童に対して、身体機能、身辺自立、社会性の発達支援を行なった。

（２）１市２町から障がい児通園(デイサービス)事業を受託し、障がいのある児童、その家族に対し、療育活動、社会学習活動などを行った。

（３）１市２町から日中一時支援事業を受託し、障がいのある児童に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための療育を行なった。

（４）県療育等支援施設事業を受託し、訪問、施設指導の方法により、療育的支援が必要な児童、保護者に支援を行った。

２．障害児通所支援事業の契約、利用状況（単位：人）

（１）利用状況（在住町村・年代別）

児童発達支援事業　保育所等訪問支援事業

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
雲南市		1	4	8	10	23
奥出雲町			2	2		4
飯南町					1	1
計		1	6	10	11	28

放課後等デイサービス事業

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中～	計
2	4	4	1	2	2	1	16
1							1
				1			1
3	4	4	1	3	2	1	18

（２）月別利用状況（利用児延人数）

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
児童発達支援	59	58	53	58	49	54	57	56	53	58	50	61	666
放課後等デイサービス	63	35	44	66	76	28	37	33	44	32	28	46	532
保育所等訪問支援								1	2	2	2	2	9
計	122	93	97	124	125	82	94	90	99	92	80	109	1207

３．日中一時支援の契約、利用状況（単位：人）

（１）利用状況（在住町村・年代別）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
雲南市				1	2	3
奥出雲町						
飯南町						
計				1	2	3

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中～	計
2	1	1	1	1	2		8
2	1	1	1	1	2		8

（２）月別利用状況（利用児延人数）

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
利用児人数	28	34	28	33	23	24	27	20	27	15	14	30	303

４．障がい児通園（デイサービス）事業　子ども発達支援事業

- あそびのきょうしつ　　１１回
- ミニさくら飯南　　６回
- ミニさくら奥出雲　　９回
- ペアレントトレーニング　　６回（９月～１１月）
- 就学相談会　　１回
- 言語聴覚士(ＳＴ)による指導　　９回
- 作業療法士(ＯＴ)による指導　　３回
- 医師相談会　　３回
- 季節行事活動　　３回（ミニ運動会、りんご狩り、クリスマス会）

5．島根県療育等支援事業

事　業　名	実施延べ件数
訪問療育事業	５７件
施設指導事業	１１件
合　　計	６８件

6．関係機関との協力、連携機関

・いしいクリニック　やましろクリニック　児童発達支援センターやましろ
医師…保護者相談会
ＳＴ…言語指導　　ＯＴ…作業療法
・島根県東部発達障害者支援センターウィッシュ　ペアレントトレーニング　巡回指導
・ペアレントメンター島根　ペアレントトレーニング
・各市町教育委員会　就学相談会　相談、情報交換
・雲南圏域各市町、保健師、福祉事務所　通園児紹介・相談・情報交換、あそびのきょうしつ
発達クリニック、１：６、３歳児健診後の支援連携
ミニさくら奥出雲、飯南での支援連携

7．広報誌作

活動内容周知を目的とし、「さくら通信」を発行（利用者、関係機関に配布）

8．見学、実習生の受入

みなみかも保育園	保育士　３名	
三刀屋保育所	保育士　２名	
木次こども園	保育士　１名	
放課後等デイサービス事業　みかたっこ	児童発達支援管理責任者	１名
放課後等デイサービス事業　みらい雲南	児童発達支援管理責任者　保育士	２名
雲南市議会議員	１名	

9．非常災害対策・緊急時対応

避難訓練の実施

10．まとめ

・職員退職後正職員の補充が行われた。
・保育所等訪問支援事業を１１月から奥出雲町にて毎月実施し、２名の通園困難な児童の支援を行った。
・放課後等デイサービス事業所が雲南市内に新設されたこともあり利用人数の減少が課題。